

# こおろぎ

発行日 2003年 4月 1日 **No.121**  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
代表取締役：杉井保之  
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町 777-1  
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187  
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp

## 平和を願って

とうとうまた戦争が始まってしまいました。日本にいと、まるでテレビの中の出来事のように見えますが、私たちがこうしている間にも、多くの人が血を流し、家族や友達が亡くなっているのです。

私は、世の中からこうした悲しみを少しでも減らしたいと思って「こおろぎ」を作ってきたので、本当に残念でなりません。

そんな中、春休みの思い出作りのために家族でディズニーシーに行ってきた。すると夢の世界「ディズニー」にも戦争の影響が出ていたのです。「夢の世界」の入り口で、持ち物検査をしていたのです。

戦争が始まって以来、日本でも反戦を訴える声が高まっていますが、本当に戦争は海の向こうの出来事なのでしょうか？

企業の中では、皆のメリットより自分の好みや感情を押し通す人がいたり、家の中には、自分がお世話になっていることはさておいて、自分の希望ばかりを主張している人がいたりします。そうしたことがどれ程人の心を傷つけているかわからないと思うのです。

持ち物検査を終え、入場ゲートに向くと、多くの人達が少しでも早く入ろうと走りはじめました。少しでも早く入っているいろいろな乗り物に乗りたいのでしょう。私も同じ気持ちですが、ここまで来て走ったらせっかくの夢の国が台無しになると思い、子ども達に「ここは夢の国なんだから、走っちゃダメだよ。ここまで来て人と競争したらもったいない。列に並ぶ時は誰かを先に並ばせてあげようね」と伝えました。

人によって色々な楽しみ方があって良いと思いますが、せっかくの夢の国に大切な人と来て、ゆったりと過ごせなかったら本当にもったいないことだと思います。もし皆が我先に入ろうとしてせせこましくなったら、夢の国が台無しになってしまうと思います。

私も決して他人のことは言えませんが、テレビを見て「戦争反対！」と言っている、こうした競争がある限り戦争はなくならないような気がするのです。

今回、私なりに出来ることはないかと考え、「こおろぎの言葉」の葉書を同封してもらいました。是非、どなたかに送ってあげてください。

落合先生の「あなたの幸せを祈っています」という文字が日本中を飛び回ったら、きっと争いが減っていくと思うのです。

戦争をなくすには、私たちが大人になり、やさしさを増やす以外ないと思います。

## 生き方探求 人間学誌「致知」五月号 (P90)

に、私の記事「不完全を嫌う必要はない」を載せていただきました。

私が10年勤めた警察を辞め、社員ゼロから会社を作ってきた経緯がまとめられています。もし、読んでみたいと思う方は、ご連絡下さい。

「生き方探求 人間学誌」とあるように、生前、哲学者の森信三先生は、「致知の読者が10万人になったら、日本は変わるだろう」と言われたそうです。歩く道が決まっている人は、問題を抱えてもどれ程楽かわかりません。「致知」はそうした道を示してくれる本だと思います。

私の記事が役に立つかは分かりませんが、皆さんに少しでも元気になってもらえたらと思っています。興味のある方は、是非、読んでみて下さい。きっと道はあります。

## 今月の推薦図書

「小さな実践の一步から」 鍵山秀三郎著 致知出版社  
今の日本に絶対にお勧めの一冊です。

## チャンスは私に

先日、テレビを見ていると面白い番組をやっていました。

それは「犬(チワワ)がご主人をほえるので、それを止めさせたい」という相談の番組でした。

相談者の奥さんは、チワワの調教をプロの調教師にお願いするのですが、そこで登場した調教師がすごいのです。

相談された調教師は、すぐにチワワの調教に取り掛からず、相談者の家にビデオカメラを仕掛けて、その様子を調べました。そして、チワワがほえると夫が嫌がる。夫が嫌がっているのを見て妻が笑う。妻が喜ぶのでチワワがほえるという連鎖を見つけ出したのです。

そしてチワワにではなく奥さんに「犬がほえても喜ばないように」と伝えたのでした。するとどうでしょう！ その翌日からチワワがピタリとほえなくなったのです。

私たちは、色々な問題に出合ったとき、とかくチワワ(景気や相手)に原因を求め、チワワを変えようと考えがちですが、実は私達の対応もその問題の維持に一役買っているのかもしれない。

問題の原因を「相手のせい」にしている限り、私たちは自分の行動を変えようとしません。ですから私たちの生き方も成長せず、同様の問題と何度も遭遇するのです。

とは言うものの、人間は根本的に自分を肯定したい生き物ですし、「自分に原因がある」と考えるのは少々ハードで、自分のことを嫌いになってしまう人が多いのが実情です。

ですから傷つきやすい私は、次のように考えることにしています。

「私という人間は悪くない。もし問題があったら、「私」ではなく、私の「やり方」だ。ここでより良いやり方を身につければ、きっと次はうまくいくだろう」

こうした考え方は、人から迷惑を掛けられたと感じたときにも役に立ちます。昔の言葉に、「罪を憎んで、人を憎まず」という言葉がありますが、「人」と「行動」を分けて考えないと、その人を嫌いになってしまい、人をカウンセリングしたり教育することは出来なくなります。

問題と出会ったら、自分を責めたり、相手のせいにしたりせず、成長の機会に出来たらいいですね。

## ☆☆ お便利コーナー ☆☆

「こおろぎ」ありがとうございます。今日から春の高校野球が始まりました。大会歌の中に「今ありて未来につながる・・・」という一節がありました。脳血栓で走れなくなり、バランス感覚の乱れで自転車に乗れなくなり右手も不自由ですが、生きていることこそが「幸せ」です。嫁いでいる娘の子ども(初孫)が今春一年生です。うれしそうにランドセルを背負って見せてくれました。幸せな一瞬です。

新約聖書(マタイ伝第六章)に「だから明日のことを思いわずらうな。明日のことは、明日、自身がわずらうであろう。一日の苦労は、その日一日だけで十分である。」  
また、仏教にも「過去を追うな。未来を願うな。過去はすでに捨てられた。未来はまだやって来ない。だから現在のことがらを揺らぐことなく、動じることなく、よく見極めて実践せよ。ただ今日なすべきことを熱心になせ。」という釈迦の言葉があります。  
お互い今を生きましよう。